



甲斐市立竜王中学校
学校だより No14
令和6年1月30日



授業参観・PTA教育講演会 ありがとうございます

令和6年を迎えたばかりの元日に能登半島を中心に震度7を記録する大地震が発生しました。亡くなられた方々に心より哀悼の意を表しますとともに、被災された方々にお見舞い申し上げます。

いつ、何が起きるか、わからない時代です。災害や事故に備え、できる限りの準備しておくことの大切さを改めて痛感しました。甚大な被害を受けた地域の学校では、地震の影響で学校の休校が続いており、集団避難や転校を余儀なくされています。今被災され困難な状況にいる人たちのために、また同じ中学生の仲間のために何かできることがないかと思っていたところに、3学期が始まってすぐに生徒会から募金の申し入れがありました。先日、生徒会からの報告で、87,867円の募金が集まったそうです。たくさんの善意が行動に表れたことに感謝します。ありがとうございました。

さて、1月26日(金)は、今年度最後となる学校開放日でした。延べ100名程の保護者の方々に授業を参観していただきました。また、午後からはPTA教育講演会が開催され、「性別って2つだけ?~多様な性のありかた~」と題して、LGBTについてのお話を聴く機会を設けました。講師には、一般社団法人ELLYの代表理事である山口颯一さんをお迎えしました。山口さんは、三重県のご出身で、「誰もが過ごしやすいまち」を目指して活動されており、大切な内容をわかりやすく、楽しくお話しされる話題の講師です。ご自身も、LGBTについて学ぶために、先進国であるカナダに短期留学され、2019年には、世界で7人しか選ばれないLGBTに関する世界会議(ニューヨークで開催)にも招待されるなど、国際的にも活動されている有名な方です。2021年には、三重県で東京オリンピックの聖火ランナーにも選ばれるなど、多方面にわたって活躍されています。



山口さんのお話は大変楽しくて、わかりやすく、身近なこととして聴くことができました。性に違和感を感じて苦しむのではなく、それを個性として捉え、自分の強みにしていくことが大切であると話されていたのが印象的でした。これからの日本は、社会の多様化が進み、誰もが生き生きとした人生を享受することができる共生社会の実現を目指すと言われています。だれも排除されず、全ての人が社会に参画でき、豊かで幸せな人生を送れる社会の実現に向け、たいへん貴重な講演となりました。

講演会を聞いて 生徒の感想(一部抜粋)

□正直なことを言うとLGBTに興味はありませんでした。しかし今回の講演会でLGBTの考え方が変わりました。山口さんの経験談でトランスジェンダーの方がどんな苦勞を強いられているのかがわかりました。今、そんな方たちに自分ができることは、LGBTを受け入れ、差別のない生活環境を整えることです。それらを自分にできることから始めていきたいと思います。また、山口さんの講演の仕方がとても上手で、興味を引かれることばかりでした。特に、男らしい、女らしいではなく「自分らしさ」が必要だと聞き感動しました。これは、LGBTの方だけでなく、全ての人に通じることです。僕はLGBTの方々には肯定的でいたいし、自分らしさを磨ける人間になりたいと思いました。

□今回LGBTQについて改めてどういうものなのか考えられました。私はLGBTQについては知っていましたが、山口さんの話を聞いて、LGBTQで悩んでいる人が多いことや、性は58種類もあることを知りました。LGBTQの人は、自分らしさを表に出すことは難しいことだと知り、LGBTQで悩んでいる人がもしいたら、悩みを聞いてあげたり、これからどうしていくのかを一緒に考えて、少しでも自分らしさを出せるように努力していきたいと思いました。私は山口さんの動画をYouTubeで見たことがあるので、山口さんの動画でもっとLGBTQについて知っていこうと思いました。

□LGBTの話を知り、普段はあまり身近にないと思っていたので、知らないうちに否定的なことを言ってしまうかも少し不安になりました。性別は個性の一部という表現が印象に残っていて特別扱いをするものでも、差別をするものでもなく、当たり前が存在するという意識が大切だと思いました。LGBTだけでなく、自分と違う人を認め、共に支え合うことで、皆が過ごしやすい社会になるのだと感じました。LGBTQはかたく、どこか重たいイメージがあったけれど、楽しく分かりやすく、身近なものだと実感できました。

□今回の講演会でLGBTQについて詳しく知ることができて、とても良い機会になりました。私はLGBTという言葉は聞いたことがあったけど、その内容については何にも知りませんでした。今回の講演で一番心に残ったことは、自分の個性を弱みと捉えるのではなく、その個性を強みと捉えることが大切というので、何においても、個性を強みと捉えることはすごく大切でいいことだと思ったし、自分ももっと個性を強みにしていこうと思いました。あと、私は、ファミマのレインボーソックスを持っていたので、そんな意味があるなんて知らなかったから、新しい学びになって楽しかったです。

□今まで聞いたきたPTA教育講演会の中で一番面白かったし楽しかったです。親に付けてもらった名前を捨てるのではなく、活動グループの名前にしているところが本当にすごかったです。恥ずかしながら今日の講演で初めて知ったことや言葉もたくさんあって、とても考えさせられました。私は差別や特別扱いをしないために、知識をたくさん身につけ、もし何かあったら話を聞けるようにしたいと思います。今日のこの講演を聞いて良かったです。必ず自分の生活につながれるようにします。

□LGBTQについては、家族間や友人間でも話題になったことがありましたが、当事者のお話をこのような形で聞くのは初めてでした。講演を聞く中で、私は山口さんの「個性を強みに」した話や「ルールや規則の中でやりたいことをやる」「最大限に自分を表現する」という話にすごく勇気づけられました。今は知っている人が増えているから受け入れられる人も多いけれど「無自覚な固定観念が人を傷つける」というのは、性に限らないと思いました。これから先、人の見えない部分を自分の偏見で傷つけないように気をつけたいです。楽しく学習できました。貴重な時間をありがとうございました。

令和5年度PTA役員の皆様、1年間ありがとうございました。

今年度最後となる「第4回学校委員会」が行われました。千野会長さんから能登半島地震について、自分ごととして捉え、備えておくことが大切であるとのお話がありました。役員の皆様には1年間竜王中の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。